

小学生高学年の部



私と水道

石巻市立湊小学校 5年 木村 和寛

「今日の給食は、春巻とごはんだけだったんだよ。」学校を休んだ日夕方、弟から聞かされたぼくはびっくりしました。次の日も給食はなく、楽しみにしていたカツとチキンカレーが食べられなくなり嫌な気分になりました。原因は、水道の水がにごったということでした。当分、給食を食べられないのか・・・と思っていたら、月曜日からいつもの給食が出ると聞いてうれしくなりました。

その時、ぼくは、ハッと思いました。どうしてこんなに早く、給食が食べられるようになったのだろう。ぼくの頭に浮かんだのは、暑い日や夜にも、水道の工事をしている人たちのことでした。ぼくたちに早く給食を食べてもらいたくて頑張った皆さんにこう感謝の言葉を言いたいです。

「水道工事のおじさん、おばさん、お兄さん、お姉さん、暑かったり寒かったり、そうしたきびしい状況の中で、大がかりな水道工事の依頼が来てびっくりしたことでしょう。そなのに、数日の工事期間で、なおしてくれてありがとうございます。

また、ぼくは、去年授業で行った、浄水場の見学のことを思い出しました。安全な水が飲めるように、何回も何回も砂で水をきれいにしたり、24時間カメラや人の目で管理しているのです。それに、金魚などを飼って、水に異常がないかも調べるそうです。

どうしてこんなことをするのか、ぼくは母に聞いてみました。母は「昔は井戸水をわかして飲んだり、料理を作ったりしたよ。でも、水を飲んでイタイタイ病などになり、苦しんだ人もいたよ。」とっていました。さらに東日本大震災の時は、水道の水を使わずに、井戸水を組みお風呂の水に使ったことも教えてもらいました。みんな水道のありがたさを身をもって体験したそうです。

ぼくは、この経験から、水道の大切さと、水道を作り、守る人たちの思いがぼくたちに安全な水を届けていることを知り、水道に興味をもちました。

ぼくが、今でも不思議に思うことは2つあります。

1つは、遠くはなれているところにも安全な水が届くのか。と中で汚れたりしないのかということです。

もう1つは、高い所や遠くまで、どうやって水を運ぶのかということです。と中で水がもれないかということが心配です。これからも水道のことを調べていきたいです。

そして、日本国民一人一人が、水道に感謝して、水をより大切にしていけば節約できると思います。たとえば、お風呂の水を使ってせんたくをすれば、全国で何億リットルの水が節約できることでしょう。そんなことを考えるだけでうれしくなりました。

ぼくが大きくなるころには、もっと安全で、おいしい水道の水ができればいいなあと思います。もしかしたら、家や公園に届く水が、夏はつめたく、冬は温かく、天然水のようなおいしい水が飲めるといいなあと思います。

これからも、水道に感謝し、水を大切にすることは、地球に住んでいるぼくたちが、水道に関わる人たちや地球に対する、「お礼の1つ」かもしれません。